

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 98

事業名	自主防犯意識の醸成促進事業		
担当課・室・班名	くらし安全推進課防犯対策推進室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	警察、市町村と連携を図り、特定の罪種、あるいは特定の被害者層に的を絞った、実効性のある効果的な広報啓発活動を実施する。 また、安全安心まちづくり旬間における防犯パトロール隊出動式等の実施により広く県民の防犯意識の高揚を図る。					
当初予算額(千円)	27年度	2,986	28年度	3,063	29年度	2,862
決算額(千円)	27年度	1,361	28年度	1,792	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

- ・啓発用物品(自転車盗難被害防止チラシ125,000枚、ポスター1,500枚)の作成・配布
- ・安全で安心なまちづくり旬間に、防犯パトロール隊出動式を実施 など

(2) 事業の成果

・「安全で安心なまちづくり旬間」における防犯パトロール出動式の実施や啓発物品の配布などの広報・啓発に積極的に取り組んだ。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

- ・引き続き、犯罪被害を防止する効果の高い啓発物品を作成し、防犯パトロール隊出動式等で広報・啓発することにより、広く県民の防犯意識の高揚を図る。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 99

事業名	防犯意識を高める広報啓発事業		
担当課・室・班名	警察本部 生活安全総務課犯罪抑止推進室	問合せ先(電話番号)	043-201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	県警女性警察官等により結成した、よくし隊レディ「あおぼーし」による、街頭キャンペーンや防犯講話等を通じて防犯意識の高揚を図る。					
当初予算額(千円)	27年度	-	28年度	-	29年度	-
決算額(千円)	27年度	-	28年度	-	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

○街頭キャンペーンの実施 *平成28年度中、実施回数43回、対象人数31,330人であった。
 6月:電車内における痴漢対策強化期間(自治体・鉄道事業者と共同したキャンペーン)
 11月:女性に対する暴力をなくす運動(千葉県総合企画部男女共同参画課と共同したキャンペーン)
 地域社会全体における防犯意識の高揚を推進した。
 ○防犯講話の実施 *平成28年度中、実施回数55回、対象人数10,316人であった。
 学校・企業等からの要請を受け、防犯講話や護身術教養等を実施、被害防止教育を推進した。

(2)事業の成果

○街頭キャンペーンや防犯講話等を通じて、被害対象者自身の防犯意識の高揚と社会全体での犯罪抑止機運の醸成が図られた。受講者からは、「普段は接することのない警察官、それも同性の女性警察官から具体的な防犯ポイントの指導や護身術を教わり、自分でも気をつけようと思った。」などの意見があり、被害対象者の自主防犯意識向上に効果が見られた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

○今後も、継続的に自治体・企業・学校等と協力連携した街頭キャンペーン・防犯講話を実施して、被害対象者に対する被害防止教育を推進するとともに、社会全体の犯罪抑止気運の醸成により子どもを守る環境づくりに努める。
 平成29年度は、6月痴漢対策強化期間、8月警察ふれあいフェスタ、11月女性に対する暴力をなくす運動におけるキャンペーンを実施予定である。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 100

事業名	防犯ボランティア活動促進事業		
担当課・室・班名	くらし安全推進課防犯対策推進室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	地域の防犯力向上に大きな役割を担っている自主防犯団体の活動を継続、発展させていくため、防犯ボランティア団体の活動を支援する。					
当初予算額(千円)	27年度	1,489	28年度	1,429	29年度	1,502
決算額(千円)	27年度	839	28年度	1,040	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> ・地域防犯力の向上に関する交流大会の開催(8/6) ・ヤング防犯ボランティアへのパトロール資機材貸与

(2) 事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う学生等のヤング防犯ボランティアへパトロール資機材を貸与した。また、地域防犯力の向上に関する交流大会を開催し、自主防犯活動の様々な課題について議論した。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、自主防犯団体の問題点や活動の活性化策を話し合う「地域防犯力の向上に関する交流大会」の開催やヤング防犯ボランティアへのパトロール資機材の貸与を行い、自主防犯活動を支援する。

4 委員意見

--

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 101

事業名	地域の防犯力アップ補助事業		
担当課・室・班名	くらし安全推進課防犯対策推進室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	地域の防犯力を向上させるためには、自主防犯活動を促進し、その発展・強化を図る必要があることから、市町村が行うパトロール資機材整備事業について、その経費の一部を補助する。					
当初予算額(千円)	27年度	1,600	28年度	8,000	29年度	8,000
決算額(千円)	27年度	1,471	28年度	3,089	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・パトロール用資機材整備費の補助(18市村)

(2) 事業の成果

・各市町村の行う資機材整備事業を通じて、自主防犯団体へのパトロール用資機材整備を支援した。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・引き続き、各市町村へパトロール資機材整備補助制度の積極的な活用を呼びかけ、自主防犯活動を促進し、その発展・強化を図る。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 102

事業名	安全で安心なまちづくり推進事業		
担当課・室・班名	くらし安全推進課防犯対策推進室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	千葉県安全で安心なまちづくりの促進に関する条例に基づき、県民一人ひとりの防犯意識の向上と自主的な防犯活動に取り組めるような推進体制の整備を図る。					
当初予算額(千円)	27年度	415	28年度	264	29年度	232
決算額(千円)	27年度	353	28年度	159	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

- ・千葉県安全安心まちづくり推進協議会総会(10/20)の開催
- ・万引き防止対策部会の開催(1/27) など

(2) 事業の成果

・県、市町村、県民、自治会及び事業者等を構成員とする、千葉県安全安心まちづくり推進協議会総会を開催し、「安心で安全なまちづくりのための活動方針」を決定し、各団体が相互に協力・連携して、防犯活動に取り組むを進めた。また、万引き防止対策部会を開催するとともに、防犯現地診断を行った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・引き続き、千葉県安全安心まちづくり推進協議会総会や万引き防止対策部会などを開催し、様々な関係機関と連携を取りながら、県民一人ひとりの防犯意識の向上と自主的な防犯活動に取り組めるような推進体制の整備を図る。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 103

事業名	消費者教育啓発事業(再掲)		
担当課・室・班名	環境生活部くらし安全推進課消費者安全推進室	問合せ先(電話番号)	2292

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり						
基本目標	6 社会環境の見直しの整備						
基本方針	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応						
事業内容	1. 消費者教育の推進及び消費者被害防止のための研修・啓発等を行う。(本課) 2. 消費者の自立を支援し、消費者トラブルを未然に防ぐため、消費者自立支援講座、サポーター養成講座を実施する。また、被害の拡大防止のため、消費者センターにおいて消費者情報の提供を行う。(消費者センター)						
当初予算額(千円)	27年度	5,566	28年度	5,887	29年度	5,336	
決算額(千円)	27年度	3,675	28年度	3,463	29年度		
財源内訳	県単(○)	一般財源	4,972	県単(○)	一般財源	4,882	
		国庫	594		国庫	1,005	
					県単(○)	一般財源	4,936
						国庫	400

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

- 消費者フォーラムを開催 334人参加
学校における消費者教育(教員向け研修会の開催) 63人参加
高校生等若者向け啓発(冊子「オトナ社会へのパスポート」等作成)
テキスト93,000部 指導者向け手引書4,000部
- 消費生活サポーター養成講座 2回 159人参加
自立支援講座 15回 1,561人参加

(2) 事業の成果

・消費者フォーラムや自立支援講座等の開催により、高校生等の若者をはじめ様々な世代に対し、消費者教育や啓発を提供することが出来た。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

- ・消費者被害を防止するためには、子どもの頃から学校において金銭教育などの消費生活の知識を身につけるなど、ライフステージごとに消費者教育を受けることが重要である。
- ・また、学校において消費者教育を行うために、引き続き「教員向け研修会」の開催や、高校生等若者向け啓発資材(冊子)の配布を行う必要がある。
- ・さらに消費者問題に関する講座については、様々な主体に対し、積極的に周知を図っていく必要がある。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 104-1

事業名	ちばっ子安全・安心推進事業		
担当課・室・班名	学校安全保健課 安全室	問合せ先(電話番号)	4091

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	「地域防犯研修会」の開催。県警や地元警察署、防犯団体と連携し、地域安全マップをはじめとする最新の防犯知識と技術を伝達する。					
当初予算額(千円)	27年度	160	28年度	160	29年度	160
決算額(千円)	27年度	80	28年度	60	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・「地域防犯研修会」を県内5か所、全ての教育事務所管内で実施した。各研修会では、学校関係者、防犯関係団体の方々、スクールガード等が参加し、5会場で合計600名が参加した。

(2) 事業の成果

・学校関係者や防犯関係団体の方々、スクールガード等を対象に「地域安全マップづくり」の実践をはじめとする防犯知識や技術の伝達、有識者による防犯教育の講演、地元警察署の方々による地域防犯の状況説明及び学校・PTA・地域と連携した防犯教育の取組の実践発表等を行い、参加者の防犯活動に対する意欲の向上を図るとともに、防犯知識や技術の伝達が行えた。また、葛南教育事務所においては、文部科学省の事業である「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業(地域や関係機関と連携した防犯教育公開事業)」に指定校として取り組んだ船橋市立西海神小学校の実践発表を行い、「地域安全マップづくり」や、地域との連携のあり方等について周知することができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・「地域安全マップ」の作成をより推進するため、当該研修会のみならず、他の研修会等においても広く周知していく必要があり、平成29年度も、安全主任等地区別研究協議会や学校安全教室講習会において、「地域安全マップ」の作成及び活用についての周知を図っていく。また、学校安全教育推進委員を活用し、「地域安全マップ」作成に係る現状と課題について研究を進め、平成30年度の安全主任等地区別研究協議会において、発表する予定である。
 ・「地域安全マップづくり」の実践をはじめとする防犯知識や技術の伝達等の研修会を行った。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 104-2

事業名	ちばっ子安全・安心推進事業		
担当課・室・班名	警察本部 生活安全総務課犯罪抑止推進室	問合せ先(電話番号)	043-201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方針	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	1 県警ホームページ上の「不審者情報マップ」による情報発信とメール投稿機能を活用した不審者情報の収集を行う。 2 県警女性警察官等により結成した、よくし隊レディ「あおぼーし」による防犯講話・キャンペーンを通じて防犯意識の醸成を図る。					
当初予算額(千円)	27年度	-	28年度	-	29年度	-
決算額(千円)	27年度	-	28年度	-	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

○警察で認知した不審者情報の発生地区・概要等(行為者の検挙・警告状況を含む。)を県警ホームページ上に情報発信するとともに、メール投稿機能を活用した不審者情報の収集を実施した。
*平成28年度中、不審者情報に関するメール投稿は約193件であった。

(2) 事業の成果

○県民が、不審者情報や声かけ事案等の発生状況を閲覧することにより、防犯意識の向上が図られた。防犯講話の中で、実際に県警ホームページ上の不審者情報マップにアクセスをしてもらい、検索方法等を教示したところ、受講者から「このような情報発信があることを初めて知って、今後は保護者間でも情報共有して役立てたい。」などの意見があり、地域ぐるみでの防犯意識向上に効果が見られた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

1 今後も、継続的に不審者情報の発信、収集を推進していく。
2 防犯講話・キャンペーン等を通じた、不審者情報マップ・メール投稿機能の広報を実施して防犯意識の醸成に努める。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 105

事業名	青少年の社会環境づくり事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2288

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	千葉県青少年健全育成条例等に基づき、青少年の健全育成を図るため、立入調査の実施や、啓発用物資の作成及び配布により、青少年に有害な環境の浄化に努める。					
当初予算額(千円)	27年度	778	28年度	778	29年度	774
決算額(千円)	27年度	432	28年度	308	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・青少年の健全育成を図るため、条例に基づき、携帯電話等販売店92件、書店等289件、インターネットカフェ21件、カラオケボックス56件等、計481件(うち276件は権限移譲市町実施分)の立入調査を行い、携帯電話事業者等の説明責任等の確認・指導、青少年の深夜入場禁止や有害図書等の区分陳列等の確認・指導等を行った。
 ・千葉県青少年健全育成条例に基づく立入調査に係る事務権限を移譲した4市町(千葉市・銚子市・富津市・大多喜町)により立入調査が行われた。

(2) 事業の成果

・立入調査の実施により、事業者の条例遵守状況についての実態確認及び指導を行い、個々の店舗における千葉県青少年健全育成条例の規制事項の認識を高めるとともに、事務権限を移譲した市町による立入調査の実施により、地域における青少年健全育成の充実を図った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・青少年がインターネットを利用することにより、様々なトラブルに巻き込まれるケースが増加していることから、インターネット上に氾濫する有害情報から青少年を守るための啓発をさらに進めるとともに、条例に基づく携帯電話等販売店への確認・指導のより一層の充実を図る必要がある。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 106

事業名	青少年ネット被害防止対策事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2291

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	青少年の利用頻度の高いサイトを監視するとともに、関係機関と連携し、いじめ、非行行為、犯罪被害などの防止を図る。					
当初予算額(千円)	27年度	5,541	28年度	5,496	29年度	5,496
決算額(千円)	27年度	4,953	28年度	4,644	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・ネット監視員2名を配置し、パソコンと携帯電話を使用して、県内の全ての中学校、義務教育学校、高校、特別支援学校等(計約630校)の生徒が行っているSNSなどについて、監視を行った。問題のある書き込みを見つけた場合の措置として、特に問題のある書き込み(レベル2、3)を発見した場合に、教育委員会等に連絡し、削除を含めた生徒への指導を依頼した。自殺、ネットいじめ、事件性の高いものについては、学校、教育委員会、警察など関係機関と早急に対応した。

・学校、関係機関の要請に応じ、児童生徒、保護者、学校関係者等が主催する講演会において、職員を派遣し講演を実施した。

(2) 事業の成果

・平成28年度は3,920人の問題のある書き込みを発見し、特に問題のあるものについては、学校等を通じて指導・削除等を行った。

・学校、諸機関の要請に応じ、児童生徒、保護者、学校関係者等が主催する講演会において、職員を派遣し、講演を実施した。昨年度は70回実施し21,811名参加があった。インターネットの適正利用について啓発を図ることができた。

・当課で実施するネットパトロールの方法を広く周知し、地域全体で見守る体制作りを推進するため、ネットパトロール実施マニュアルを作成した。(平成29年4月に関係機関に配付)

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・引き続きネットパトロールを継続し、子どもたちを見守りながら、関係機関と連携・協力し、指導や保護につなげていく。

・インターネットの適正利用について、効果的な啓発の仕方を検討していく。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 107

事業名	フィルタリングの普及促進に向けた広報啓発活動		
担当課・室・班名	警察本部 少年課	問合せ先(電話番号)	201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	有害サイトへのアクセス制限機能であるフィルタリングの普及促進に向けた広報啓発を実施する。					
当初予算額(千円)	27年度	-	28年度	-	29年度	-
決算額(千円)	27年度	-	28年度	-	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・県内の携帯電話販売店等112店舗に対して、フィルタリングの普及に関する協力要請を行った。また、小・中・高等学校の保護者説明会等を通じて、携帯電話やスマートフォンに係る児童・生徒の犯罪被害の実態やインターネットの危険性、適切なフィルタリングの利用は保護者の責務であることを説明するなど、広報啓発活動を実施した。(平成28年中)

(2) 事業の成果

・少年がインターネット上の有害情報を閲覧する機会をできるだけ少なくするために、携帯電話販売契約代理店に対する働きかけや広報啓発活動を通じて、少年や保護者などに有害サイトの危険性の注意喚起やフィルタリング機能の利用促進を呼びかけることができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・携帯電話販売店等に対して、フィルタリングの普及に関する協力要請を行う。また、小・中・高等学校の保護者説明会等を通じて、広報啓発活動を実施する。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 108

事業名	サイバー犯罪対策の推進		
担当課・室・班名	警察本部サイバー犯罪対策課	問合せ先(電話番号)	201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方針	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	県下の学校等教育機関を対象としたネット安全教室を開催し、インターネットを利用する上での規範意識の向上や、情報セキュリティ対策に関する知識の向上を図る。					
当初予算額(千円)	27年度	292	28年度	292	29年度	264
決算額(千円)	27年度	292	28年度	292	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

平成28年中、ネット安全教室を916回実施
(対象別内訳)
・小中高大学生590回
・教職員56回
・保護者270回

(2) 事業の成果

・インターネットを利用する児童生徒に対し、そこで発生する犯罪やトラブルの被害者にも加害者にもならないよう、ネットにおける自衛能力としてネットリテラシーについて広報啓発を中心に行い、その浸透を図った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・青少年に関連する最新のネット動向を注視し、それらを踏まえた広報啓発を行う必要がある。
・当事者である青少年とそれらととりまく大人との情報格差が生まれている。
・フィルタリング及びペアレンタル・コントロール普及が遅れている。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン 平成28年度事業評価シート

計画番号 109

事業名	暴走族総合対策の推進		
担当課・室・班名	警察本部 交通捜査課	問合せ先(電話番号)	043-201-0110 内線5464

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	暴走族への少年の参加及び、加入防止の措置を図る。 青少年の健全育成を目的とした再発防止・離脱支援活動を推進する。					
当初予算額(千円)	27年度	50	28年度	50	29年度	-
決算額(千円)	27年度	39	28年度	49	29年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

○暴走族による集団暴走の取締り
・毎週末、県内全域において、集団暴走事案に対する警戒取締りを実施し、道路交通法(共同危険行為等の禁止等)違反を適用した捜査を推進した結果、暴走族グループによる集団暴走事件を解決した。

○広報啓発活動の推進
・暴走族取締強化期間における指導取締りを強化するとともに、暴走族防止排除ポスターを活用して、広報啓発活動を実施した。

○暴走族相談員による離脱及び加入防止相談の実施
・暴走族に加入している少年及び保護者から、離脱及び加入に関する相談の他、道路交通法(共同危険行為等の禁止等)違反で、検挙した少年の保護者に対し、青少年の健全育成を目的とした再発防止・離脱相談に対応した。

(2) 事業の成果

・京葉地区、南総地区の暴走族による集団暴走に対し、道路交通法(共同危険行為等の禁止等)違反を適用し、同グループを検挙解体した。

・暴走族グループ及び構成員は減少傾向にあるものの、県民に多大な危険と迷惑を及ぼす集団暴走に対する警戒、取締り強化により、県民の安全で安心できる交通環境づくりに成果があった。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・不良少年による小規模な爆音暴走が多くなっている。

・暴走族に対する指導取締りを強化して、検挙解体し、少年を暴走族グループから離脱させることにより、青少年の健全育成を図るとともに、再発防止・加入阻止を推進していく。

4 委員意見